



新たなスタッフを迎え新年度がスタートいたしました。

令和8年度も当機構の技術コーディネーターを中心に、関係機関や団体と連携し積極的に事業に取り組んでまいります。

今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。



令和8年度事業の計画について

ものづくり企業を取り巻く状況は、少子高齢化や労働力人口の減少、エネルギー・原材料価格の高騰、脱炭素社会実現に向けた取り組みに加え、世界情勢の不安定化など、様々な課題に直面しており、サプライチェーンの強靱化や生産能力の安定的な確保、DX(デジタルトランスフォーメーション)に向けたイノベーションの推進が求められております。

当機構では、設立原点である「ものづくり企業への支援を通じた福島県産業振興」を図るため、圏域企業の研究開発の促進・新事業の創出育成・技術の高度化・デジタル活用・人材育成など、積極的に取り組んでまいります。

これら事業の実施に当たっては、日本大学工学部・行政・研究・支援機関・福島イノベーション・コースト構想・福島国際研究教育機構(F-REI)等と連携し事業を展開してまいります。

重点事項として、大きく3つの事業に取り組めます

- 1 ものづくりインキュベーションセンターの運営 (新事業創出育成事業)
- 2 人材育成・研究開発促進 (技術振興事業)
- 3 起業化育成・支援 (地域技術起業化推進事業)



こおりやま産業博 2025

I 【新事業創出育成事業】

ものづくりインキュベーションセンター入居企業の研究・産学連携支援。施設の活用促進・適切な管理運営。

II 【技術振興事業】

- (1)産学連携による人材の育成 マスターズ・カレッジの開催
- (2)技術情報等の提供

NUBIC(日本大学産官学連携知財センター)との連携による、技術相談・指導。



マスターズ・カレッジ 2025

III 【地域技術起業化推進事業】

アライアンス形成会議を中心に、ロボットテクノロジー・健康医療福祉産業創生・サステナブル地域づくりの3つのフォーラムを開催するほか、須賀川方部アドホック研究会活動の支援を通じて起業家育成に努める。

今後とも、各機関との連携を深め、基本方針に掲げる目標達成に取り組んでいきたいと考えております。

令和7年度 第5回 理事会開催報告

3月23日(月)11時から郡山商工会議所会館中ホールBで、今年度第5回理事会を開催しました。今泉理事長をはじめ、理事7名、監事2名が出席し、令和7年度の業務執行状況と補正予算、令和8年度の事業計画と当初予算等が審議され、原案どおり承認されました。

令和8年度の事業計画については、ものづくりインキュベーションセンターの有効活用、人材育成、産学連携による支援等、ものづくり企業の支援を引き続き積極的に進めていくことが話し合われました。



インキュベーションセンター入居者の近況報告

皆さんこんにちは、テクノポリス推進機構 企画管理課長の齋藤です。

4月になり、テクノポリス地域6市町村にも春の訪れを感じるようになりました。お花見、行楽シーズンのお供として飲むビールは格別ですが、いつもと違ったクラフトビールを選んでみるのはいかがでしょうか？

インキュベーションセンター3号室に入居している「株式会社あぶくまビール」は、玉川村に本社・醸造所を設置するクラフトビールの醸造事業者ですが、インキュベーションセンターではビール酵母開発等をテーマに入居・活動を行っています。

創業当初はビール製造を外部委託していましたが、玉川村「乙な駅たまかわ」内に自社醸造所「Abukuma Riverside Brewery」を建設、昨年6月には酒類等製造免許を取得し、ようやく自社製造を開始することができました。

また、地域の農産物も活用した新製品も製品化されました。

【あさか舞エール】郡山市のブランド米「あさか舞」の新米を使ったビールです。

【ゆずエール】玉川村産の柚子の皮や果汁を使用し、ゆずの豊かな香りを楽しめます。

ビールが苦手な方にも試していただきたい商品です。

ラインナップも少しずつ増え、飲み比べる楽しみもできるようになりました。

センターで研究開発を進めている酵母を使用したビールの製品化もますます楽しみです。

あぶくまビールの商品は、下記の販売店またはあぶくまビールのオンラインショップ(<https://shop.abukuma-beer.com/>)よりお求めいただけます。近くにお立ち寄りの際は、ぜひお手にとってみてください。

直売所：玉川村南須釜栄平290 すがまプラザ交流センター(旧須釜中学校) (8:30~17:00 土日祝日営業・平日休)

乙な駅たまかわ：玉川村竜崎滝山12-26 (10:00~17:00 年末年始等を除き毎日営業、休業日は乙な駅たまかわのウェブサイトを確認ください)

※その他、福島空港売店等でもお求めになれます。

※お酒は20歳になってから。飲酒運転は絶対に「しない!」「させない!」をキーワードに、楽しくお酒を楽しみましょう!



地域連携型医療関連ビジネス創出支援事業 成果報告会

3月13日(金)、ふくしま医療機器開発支援センターにおいて、郡山市主催事業「地域連携型医療関連ビジネス創出支援事業」(事業受託者:一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構)の成果発表会が開催されました。

この事業は、市内企業を対象に、コンサルティングやマッチング、医療関連展示会への出展、医療関連製品の解説講座などを実施することで、医療機器分野への参入および事業化を支援するものです。

今年度は、ものづくりインキュベーションセンター入居企業である株式会社ハンドレッドメディカル(1号室 代表取締役:栢本 直行氏)及び株式会社アイアールメディカル工房(8号室 代表取締役:河邊 大輔氏)が事業採択され、1年間の活動成果について報告がなされました。

報告会では、既存製品との差別化のポイント、製品開発における工夫・苦労した点について説明があり、今後の展望についても熱意をもって語られていました。

両社の製品が国内外の医療・福祉の現場で活躍し、ウェルビーイングな社会に貢献するものとなるよう期待しています。



栢本 直行氏



河邊 大輔氏

日本大学工学部との産学連携の取り組みについて

当機構が運営・管理する「ものづくりインキュベーションセンター:INC」では、産学連携に基づき内田インキュベーションマネージャーが大学の研究室を訪問して先生方と交流を深め、圏域内の企業様の課題解決ならびに先生方の研究の一助として産学連携のきっかけづくりを行い、成果を挙げております。

最近では、土木工学科 子田先生、手塚先生および機械工学科 田中先生の古川池や南湖公園の水質保全の研究で水草等の利活用事業がきっかけで、INC入居企業の福島三洋プラスチック工業(株)が手掛けるバイオマスプラスチック製品開発の今後への繋がりが出来ました。

企業における新製品開発、技術開発および課題解決に向け大学の知見を活用したい等ありましたら、是非ともご相談下さい。

